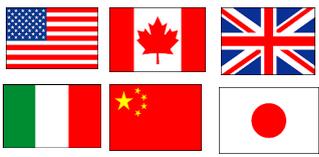


設定した言語活動を通して育てたい力

○ 世界の国名の英語での言い方を知り、英語と日本語とではその表し方が違うことに気付くことができる。

思考力の育成

- ◇ 学年 第6学年
- ◇ 単元名 Lesson 5 Let's go to Italy.
- ◇ 本時の目標 世界の国名の英語での言い方を知り、英語と日本語ではその表し方が違うことに気付く。
- ◇ 学習の流れ(1時間目/全4時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
<p>1 課題意識をもたせる。</p>  <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>◇黒板に国旗カードを貼り、国名を発表させる。</p> <p>T: Do you know this country? Please tell me. S: アメリカ! カナダ! 英国! イタリア! 中国! 日本! ... T: Very good! OK. Please listen in English.</p> <p>◇音声教材を使い英語で何と言っているか比較させる。 ◇英語と日本語の言い方の違いに気付かせる。</p> <p>・強く読むところ。(例) アメリカ→America ・カタカナの国名の中には、日本語と英語が連想しにくい国名もある。(例) トルコ→ターキー (Turkey)</p> <p>◆集中して聞き取らせる。</p> <p>世界の国名の言い方で、英語と日本語の違いを知ろう。</p>	<p>音声教材を使用し、英語と日本語を比較させましょう。</p> <p>★音声を聞き、比較させることで、英語と日本語の国名の言い方の違いに気付くようになります。</p>
<p>3 世界の国名の言い方を知る。</p> <p>【Chants 1】 ・リズムに合わせて国名を言う。</p> <p>【Let's Play 1】 ・ポインティングゲームをする。</p> <p>【Let's Play 2】 ・ステレオ・ゲームをする。</p> <p>【Let's Play 3】 ・国旗カルタゲームをする。</p>	<p>◇国旗カードを使用し、児童の様子を見ながらテンポよく単語を発音させる。</p> <p>◆児童の様子を見ながら、指導者は単語を繰り返し発音し、児童に何度も聞かせるようにする。 (例) India, Australia, Egypt, Spain, Greece, Brazil ...</p> <p>◇ポインティングゲームのやり方を理解させる。 ・ペアになり、二人の間に「Hi, friends! 2」のP18・19を開けさせておく。 ・指導者やCDが言う国名を聞いて、その国旗カードを指ささせる。</p> <p>◆ペアで行うことにより学び合いをさせる。</p> <p>◇ステレオ・ゲームのやり方を理解させる。 ・指名された数名の児童は前に出る。 ・それぞれに国旗カードを1枚選ばせる。 ・前に出た児童に一齐に自分の持っている国旗カードの国名を英語で言わせる。 ・他の児童に、前に出た児童がそれぞれの国名の英語を言ったかをあてさせる。</p> <p>◇国旗カルタゲームのやり方を理解させる。 ・4人グループを作り、机上に国旗カルタを並べさせる。 ・今までに学習した色や形を表す表現を使ってクイズを出す。国名を言ってカルタを取らせる。 ・おてつきは1回休みとさせる。</p> <p>T: What country? Three colors, blue, white and red. S: It's France. T: Good!</p> <p>◇振り返りカードに、今日気付いた英語と日本語の国名の言い方の違いについて記述させる。</p>	<p>いろいろなゲームを使い、楽しみながら繰り返し練習をさせましょう。</p> <p>★これらの活動を通じて、世界の国名の単語を何度も聞かせることで、英語の国名の言い方に徐々に慣れさせることができ、言葉の面白さに気付かせることができます。</p> <p>・英語と日本語では、国名の表し方が違うことに気付いている。 〔言語や文化に関する気付き〕 (行動観察・振り返りカード分析)</p>
<p>4 本時のまとめをする。</p> <p>児童のまとめ例 ・トルコはターキー、ギリシャはグreekと言っ、カタカナの国名の言い方が日本語と全く違うことが分かりました。 ・オーストラリアやアメリカは日本語の言い方と似ているけれど、強く読むところが、日本語と違って面白いと思いました。</p>		
<p>5 本時を振り返り、次時につなげる。</p>	<p>◇次時の意欲につながるように、児童の頑張っていた姿を評価する。</p>	

